

平成二十七年七月二十八日

亡き方に心を捧げる

謹啓 大暑の候

檀信徒各位におかれましては当山の護持運営に関し、格段のご厚情を賜り心より御礼申し上げます。

「人まさに安然として巨室きよしつに寝ねんとす。しかるに我れ嗽々せうせう然ぜんとして随きいてこれを哭なくするは、自ら以て命に通ぜずと為す。故に止めたるなり。」

これは莊周という人が妻を亡くした際に、友である恵子に話した言葉です。恵子が弔問に訪れた際、莊周は盆を叩いて歌をうたっていたそうです。恵子は長年苦勞を共にした奥さんが亡くなっているのに不謹慎ではないかと莊周をとがめます。しかし、莊周は言います。

「私とて妻を亡くしたときは悲しみが込み上げ、何も手につかなかつ

た。しかし、生命というものを考えると、もともとすべては無を本質としていることに気付いた。」

これに続いて述べられたのが冒頭の言葉です。要約すると、人間は死して雄大な天地の部屋で安らかに眠る。それなのに私がそれを追いかけて大声を張り上げて泣くことは、運命の道理に通じない、だから泣くのを止めたという意味です。

話は変わりますが有名な孔子は自分の弟子である顔回が亡くなった際に人目をはばからず、身を震わせて大泣きました。弟子達は孔子の取り乱す姿に驚き思わず声をあげます。

「あつ！先生が慟哭もくされている！」

これに対し孔子は言いました。

「そんなに泣いていたか。しかし、こんなに大切な人が亡くなっているのに、今泣かずして一体誰の為に泣けば良いのか？」

妻の為に盆を叩き、歌をうたう莊周さん、愛弟子の死に号泣し身体を震わせる孔子さん、行いは正反対ですが、その心根は同じではないでしょうか？亡くなられた方のことをひたすらに想つての率直な行動、ここに供養の根本があるのです。人は生まれた時から、この世を去るという運命を背負い生きて行きます。しかし、天地という巨室で眠ると言われても、浄土に赴くと説かれても、大切な方を失った空虚感を簡単に満たすことは難しいものです。であるからこそ、何かしらの「行」が必要です。歌も慟哭も真心から生じたものであれば、これも「行」と言えるものでしょう。もちろん坐禅や読経念仏も「行」であります。今年も「東園お盆号」の発行の時節となりました。お盆は身近な先祖に功德を回らす為に、餓鬼幽霊を救う行事です。



次の行事にご参加頂き、亡き方を偲び、それぞれ「行」を積んで頂ければ幸甚と存じます。

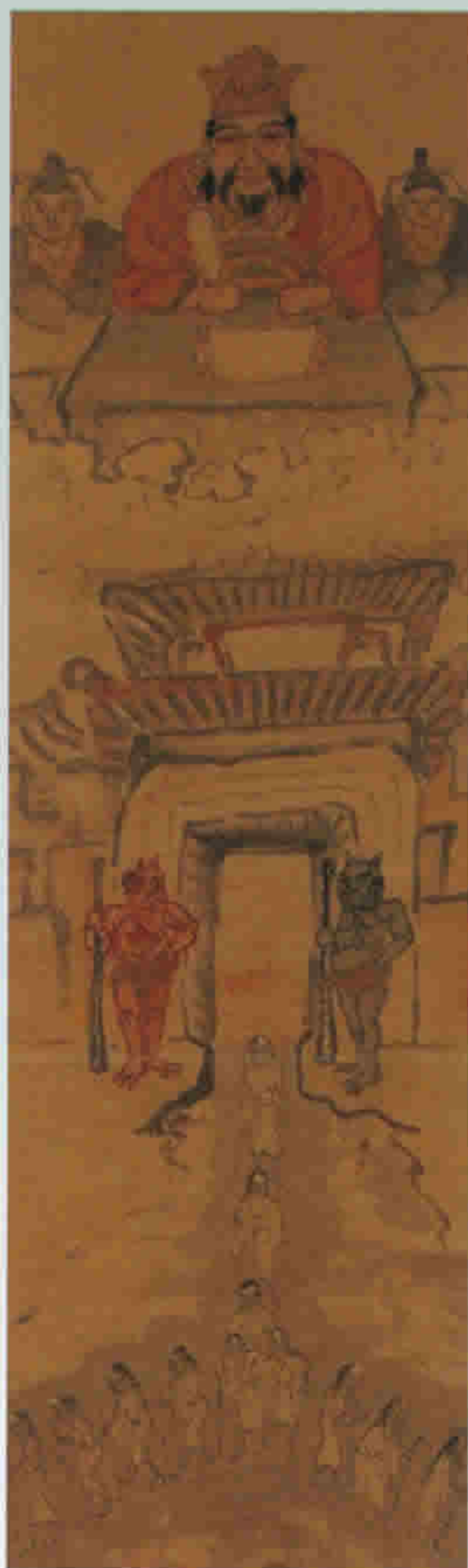
平成二十七年七月

謹白

檀信徒各位

東園寺住職 千坂成也合掌

お盆の法要日程



閻魔微笑図

○七如来名号開眼法要

- ・八月八日午前十時（午前十一時頃終了）
- ・法要と法話がございます。どなたでも参加出来ます。
- ・軽食を準備しております。
- ・会費三〇〇円

○七如来名号（精霊札）授与

- ・七如来名号（精霊符）は八月八日の開眼法要後より授与申し上げます。尚、団扇の配布はお盆期間中のみと致します。

○お墓掃除 八月八日より十二日まで

- ・お盆の期間が始まる前に墓地の清掃を行いましょう。

○お盆期間中の法要

八月十二日 午後六時 精霊迎え法要

- ・蓮華の形をした蠟燭の灯で御霊を迎えます。法要後は参加者各家に蠟燭を差し上げます。（数に限りがありますので、各家に付き一つとさせて頂きます。）

- ・どなたでもお参りして頂きます。

八月十三日 午前六時～午後五時

- ・例年通り、七如来名号（精霊札）を授与します。
- ・喪中の家以外は赤帯の袋に布施と書いて納めて頂ければ結構かと存じます。

八月十四日 午前十時 新亡供養

- ・新亡の方には改めてご案内を申し上げます。

八月十五日

午前十一時四十五分

平和祈願戦没者供養法要

- ・今年は終戦七十周年に当たります。是非ご参拝ください。予約などは不要です。

八月十六日 午後六時

精霊送り法要

- ・お盆中に各自宅にお持ち頂いた七如来名号の総供養です。



・お返し頂いた方すべての家名を住職が唱え供養します。

・どなたでもお参りして頂けます。

・七如来名号は必ず十六日午後六時までに返却して下さい。もし返却出来なかった場合は自宅で焼いて頂くか、後日寺に納めて下さい。

○孟蘭盆会供養塔婆



一体七〇〇円 八月一日より受け付けます

・通称花塔婆と呼ばれる孟蘭盆会供養塔婆はご自分の墓地はもちろん、他家の墓地にお参りした際の供養のおしるしにお供えください。

○お盆のお飾りについて 施餓鬼棚せがきだな



昔は各家にも仏壇とは別に施餓鬼棚が飾られ、ご先祖様をお迎えしました。施餓鬼棚とは成仏しきれない餓鬼幽霊の為に、施しをする為に設置されるもの

です。寺院にて荘厳される施餓鬼棚では、中央に餓鬼飯と呼ばれる大量のご飯を置き、生霊供なまのりょうぐと呼ばれる生野菜や、海の産物である昆布や寒天が供えられます。在家の施餓鬼棚では菰の上に蓮の葉を敷いてゆでた素麺やご飯が供えられることも多いようです。施餓鬼棚は餓鬼に施すという元来の意義からすれば、外か外に近い縁側等に荘厳し、餓鬼が太陽を嫌うことから夕方にお供えするものです。しかし、今日は住宅事情等もあり、仏壇の前にお盆のお供物として施餓鬼棚の名残と思われる供物が供えられる場合が多いようです。

写真は和町にある当山先々住の実家である千坂家の施餓鬼棚です。仏壇のある仏間とは別の部屋に飾られ、古くからの伝統をよく維持している様式ですのでご参考にしてください。

元来、施餓鬼の意味からすると、餓鬼飯等がきめしのお供えは家の先祖に供えるというよりは、先祖の代わりに功德を積むつもりで、餓鬼道に落ちた者に供えるものだと思われます。ご自分の先祖だけの冥福を祈るのでは無く、広くすべての御霊の安寧を祈ることが大切なのです。

○参拝者用駐車場

東園寺の駐車場は庫裏地下、幼稚園前の他に海岸通り、幼稚園裏、新墓地にございます。お盆中は満車でご迷惑をおかけしますが、心と時間に余裕を持ち譲り合いの上、ご利用ください。お墓参りや法要以外での駐車場のご利用はご遠慮ください。

行事報告

3月11日東日本大震災毎歳忌を厳修致しました。



去る5月1日、大本山妙心寺布教師松下宗心師を迎え、大回向が開催されました。



4月5日神戸祥福寺専門道場師家 木村太邦老師を講師にお迎えし、花祭りの夕べが盛大に開催されました。

坐禅会

毎週 日曜日 朝7時

東園寺本堂地下
教化センターにて



THE ZEN CLUB K&B GYM

東園寺研修センター内にあるスポーツクラブです。東園寺檀信徒は入会金が免除になります。

お問合せ

利府町加瀬宇野中沢 90-1

☎ 022-356-7071



塩釜開港恩人伊達綱村公毎歳忌が厳修されました。
6月19日、四代藩主綱村公の毎歳忌速夜法要がご命日の20日の前夜、東園寺にて厳修されました。



寺で婚活！寺コンが開催されました。

5月24日、寺で婚活！寺コン7が24名の参加者を得て開催されました。良い縁が結ばれる事を心より祈念致します。

次回は10月18日開催予定！場所は東園寺を離れて本吉となります。東園寺で募集するのは女性のみとなる予定です。

詳細は東園寺ホームページ、ブログ、フェイスブックでご確認ください。



永代供養・釈子塔
～憂い無き日々の為に～

永代供養・釈子塔

釈子しやくしとはお釈迦様の弟子という意味です。釈子塔は先祖代々という家族単位の供養のあり方を超えて、同じ仏教徒としての

供養のあり方を提案するものです。「私には子供がいない。」「家は娘ばかりでみんな嫁に行ってしまったて墓を守る人がいない。」「など様々な理由で「墓地をもてない。」「墓地をもたない。」という方々の為のお墓です。墓地納骨冥加金は左記の通りです。

納骨供養料 一霊位につき十万円 檀信徒登録済（年会費五千元）の方

特徴

＊歴代住職と共同墓地なので、家族が絶えても恒久的に誰かが墓参してくれる。

＊維持費は基本的に不要。（故人に配偶者が居られる場合は、配偶者存命の間のみ年間五千円の維持費を頂きます。）

＊墓地を取得し、墓石を建立する費用がかからない。

墓地ございます

いつでもご自由に見学して頂けます。通称稲荷下のグラウンドパレス横の小路をお進み下さい。専用駐車場もございます。

また、従来からの墓地にも空きがございます。こちらは新墓地よりも永代使用料がお安くなっています。

現在の墓所に危険を感じられる方へ

東日本大震災の経験を踏まえ、危険と思われる墓地の移動を推進しております。現在の場所に不安を感じている方で、境内墓地内への移転のご希望がございましたら、当山までお申し付けください。墓地使用冥加金減額致します。但し、移転費用は各自のご負担となります。

無縁墓地の確認作業について

ただ今、境内墓地において使用者不明墓地にご確認の掲示を

致しております。長年、お参りの無い墓地や維持会費未納の方が対象です。

坐禅会

毎週日曜日 朝七時 東園寺

※体操を挿んで50分程度の初心者向けの坐禅会です。どなたでも参加できます。

東園寺ホームページ

毎月更新しています。掛け軸の紹介や法話のページ等盛りだくさん！

平成27年度

地蔵流し法要が変わります！

海上法要から法要＋法話の集い

地蔵流し法会 参加者募集について

長年、塩釜独自の海上法要としてご愛顧頂いた地蔵流しですが、近年の参加者減少に伴い、本年より壱番館遊ホールを会場として宗派を超えた合同法要と法話会として厳修して参ります。毎年ご参加頂いている皆さま方には法縁に感謝申し上げますと共に、新たな法要にも是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

地蔵流し法要

平成27年9月2日 法要11時 参加費二千円

壱番館遊ホール

講師 松島瑞巖寺住職

起雲軒 吉田道彦老師



平成27年度 地蔵流し法会 参加者募集について

日 時 9月2日（水） 法要午前11時
会 場 壱番館遊ホール
会 費 2,000 円
申込締切 8月20日〆切（厳守のこと）
お申込先 各地区寺院

【注意事項】当日塔婆の受付はありません。申込寺院に一体1,000円を添えて事前にお申し込みください。



地蔵流し法会参加申込書

住所			
氏名		電話	
※参加費2,000円には申込の経木塔婆供養料が含まれています。下記は別に塔婆を申し込む方のみご記入ください。			
戒名			